



# 消防大学校だより



## 消防研修第109号（特集：新型コロナの下での消防・防災活動）の発行

消防大学校では、消防本部等における消防防災体制の強化のための知識・技術の向上に資するために、「消防研修」を昭和40年（1965年）10月に創刊、毎年2回発行し、各都道府県、消防学校、消防本部等に配布しています。消防研修第109号では、「新型コロナの下での消防・防災活動」をテーマに特集しました。

日本国内において、令和2年1月15日に新型コロナウイルス感染者の第1例目が確認されたこと等を踏まえ、政府は、「新型コロナウイルス感染症対策本部」を設置し、「新型コロナウイルス感染症対策の基本的対処方針」の決定をはじめとして、新型コロナウイルスの感染症対策を総合的にかつ強力に推進しています。

そこで今回の消防研修では、「新型コロナの下での消防・防災活動」を特集テーマとして、国、消防本部、医療機関など、それぞれの立場における活動の実態、市町村等における避難所運営の工夫をはじめ、今後の消防防災のあり方などを掲載しました。

消防研修最新号は、消防大学校ホームページにも掲載しています。

<消防研修のリンク先>

<http://fdmc.fdma.go.jp/investigation/index.html>

### 消防研修第109号（特集：新型コロナの下での消防・防災活動）の主な掲載内容

- 「クルーズ船ダイヤモンド・プリンセス号における救急対応」  
横浜市消防局救急部救急ワークステーション担当係長 長嵩惣一郎
- 「新型コロナウイルス感染症の対応」  
～感染者0（ゼロ）の理由～  
自衛隊中央病院総合診療科部長 竹島 茂人
- 「救急医療現場における新型コロナウイルス感染症の現状と課題」  
東京都医師会副会長  
東京都病院協会会長 猪口 正孝  
平成立石病院理事長
- 感染症の時代における消防防災のあり方  
兵庫県立大学減災復興政策研究科科長 室崎 益輝
- 日本医師会「新型コロナウイルス感染症時代の避難所マニュアル」のご紹介  
公益社団法人日本医師会常任理事 長島 公之
- 新型コロナウイルス感染症の市中感染フェーズにおける救急業務の対応  
東京消防庁救急部副参事（救急対策担当） 前田 透
- 「水災害を想定した新型コロナウイルス感染症に配慮した避難所運営訓練」から見えた課題と今後の展望について  
江東区総務部危機管理室防災課長 松村 浩士
- コロナ禍における避難所開設・運営訓練及び地域との連携による防災の取り組み  
春日部市市長公室防災対策課 片桐 淳司  
春日部市社会教育部武里地区公民館 山下 剛史
- コロナ禍における藤井寺市避難所運営訓練の実施について  
藤井寺市危機管理室 前田 紳之介
- 与論町感染症対策避難所運営について  
鹿児島県与論町総務企画課

#### 問い合わせ先

消防大学校調査研究部  
TEL: 0422-46-1713



# 消防大学校だより

## 令和3年度 消防大学校 客員教授について

消防大学校では、客員教授制度により、消防に関し特に優れた知識及び経験を有し消防大学校における教育等に対して顕著な協力をいただける方に対し、客員教授の称号を授与しています。

この度、令和3年度の客員教授名簿を作成しましたので、教育訓練等の講師選定の参考として紹介します。

※ 客員教授の連絡先については、消防大学校担当者までお問い合わせください。

※ 客員教授への講師依頼等の事務については、依頼元（各地域の消防学校等）が直接行い、これに係る費用は、依頼元において御負担ください。

専門分野	氏名	所属・職名
(1) 教育技法	山崎 洋史	昭和女子大学大学院 心理学専攻教授 総合教育センター長
(2) 組織管理	新井 雄治	元東京消防庁消防總監
(3) 消防実務法規	秋山 恵	元東京消防庁理事兼総務部長
(4) 予防法令運用	荒井 伸幸	元東京消防庁理事兼総務部長
(5) 予防政策	有賀 雄一郎	元東京消防庁次長
(6) 接遇、話し方技法、女性消防団活動	小澤 浩子	赤羽消防団 副団長
(7) 地域防災	瀧本 浩一	山口大学大学院創成科学研究科准教授
(8) 惨事ストレス対策	松井 豊	筑波大学名誉教授
(9) 危機管理	鈴木 洋	元横浜市消防局長
(10) 消防組織運営	城戸 秀行	元大阪市消防局長
(11) 消防活動指揮	永堀 満	元さいたま市消防局理事
(12) 危機管理	石井 隆一	元消防庁長官

### 問合わせ先

消防大学校教務部  
TEL: 0422-46-1712